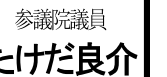




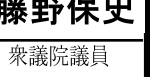
市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



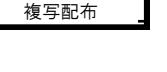
参議院議員
井上哲士



参議院議員
たけだ良介



衆議院議員
藤野保史



衆議院議員
笠井あきら
禁無断転載
複写配布

平和を求めて合唱劇 「大空へ飛べ」コンサート



子どもたちの学習支援や居場所づくりなどを行うNPO法人 夫空へ飛べのコンサートが、8月17日クロスタンドおやべで開かれました。3歳から80代のお年寄りまで150人の合唱メンバーが、合唱や劇を通して、平和の大切さを訴えました。

司会の子どもたち(石動小、東部小、大谷中)3人を始め、小矢部児童合唱団や小矢部市内の各小中学校の子どもたちや市民も多く参加し、2部では、野端和太鼓演奏を交えての感動的なコンサートでした。

「戦争を生き延びた象を見たい」

ぞうれっしや、感動しました。歌がすばらしい。聞き惚れました。子どもたちが元気で、かわいかったです。ぞうれっしやでは、戦争による不条理さをつきつけられた思いがしました。平和は、尊いです。(公演後の感想より)

上野動物園のお話 かわいそうなぞう「は有名です。戦争中、象の飼育は人間でさえ食べ物も不十分の中、とても難しく、芸をすればえさももらえるという象たちの思いも虚しく飢え死にさせるしかなかった、悲惨な史実です。

ところが、あの戦争中に、動物園で生き残っていた象がいたのです。たくさんの猛獣が次々と殺される中、名古屋の東山動物園では、園長の努力で、軍の猛獣は殺せ!という命令にもかかわらず、象が2匹、生き残ったのです。日本全国の動物園の中で、たった2頭のゾウが生き残りました。



戦後、そのゾウを見るために、当時の国鉄がぞうれっしやを走らせてくれました。全国の子どもたちを名古屋の東山動物園へと運びました。

ぞうれっしやが走って70周年。今年、この70周年を祝って、合唱

子どもたちの笑顔は、明るく輝き、戦争に傷ついた心を癒やしてくれる、人間の命を慈しむ心を 動物の命を慈しむ心を子どもたちよいつまでも 忘れないで欲しい。(全曲の中の最後11曲目 平和とぞうと子どもたち)の大人パートの歌詞)

作曲者である藤村記一郎氏は、子どもたちへのサインに、心を一つにすれば、夢だつてかなうと 信じよう 今こそという言葉を書かれます。

みなさんの明るい表情、歌声に感動でいっぱいになりました。心が温かくなります。日頃から、この気持ちを大切にしていれば、争いごとや戦争もなくなりますね。(観客の感想文より)

小さいほくたちでも 心をひとつにすれば夢だつてかなう

♪小さなほくたちでも 心をひとつにすれば夢だつてかなうと 信じよう今こそ♪

動物園にゾウが生きているということを知った東京の子どもたちが、ゾウを見たいという思いを遂げることができた一節です。



東部小学校前歩道の段差解消

東部小学校前歩道の段差解消の工事が始まり、今年度の工事はこのほど完成しました。

1年前の市議選の際に 東部小学校前の県道の歩道が狭く、段差があつて、転んで怪我した人もいる」との声が砂田市議に寄せられました。砂田市議はさっそく市や県小矢部土木事務所と相談するとともに、日本共産党富山県地方議員団の県土木部との交渉(2018年5月、11月)でも取り上げ、段差解消を求めました。地元の尾山喜次前市議もPTAや地元の関係者の要望とりまとめに尽力するとともに、県に働きかけていました。

転んで怪我した方から、喜びの声が寄せられました。砂田市議はひきつづき全区間の段差解消をめざし努力するとしています。

